

令和 7 年度
通信教育実施計画

英風高等学校

令和7年度 英風高等学校 学習指導計画

教科名	国語	科目名	◎現代の国語	略称	現国	単位数	2
教科書等	701 新編現代の国語（東京書籍）						
課題レポート		6 回	スクーリング回数		2 回	視聴レポート上限	1 回
試験範囲		課題レポートおよびスクーリングで扱った内容から出題する。					

1. 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することをめざす。

2. 学習における留意事項

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	こそめスープ、ルリボシカミキリの青	第1回	教科書p.6-p.17
第2回	未来をつくる想像力、水の東西	第2回	教科書p.142-158
第3回	スキマが育む都市の緑と生命のつながり、無彩の色		
第4回	鍋洗いの日々、森で染める人、真夏のひしこ漁		
第5回	美しさの発見、りんごのほっぺ		
第6回	不思議な拍手、真の自立とは		

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポート、単位認定試験による総合評価とする。

5. 備考

令和7年度 英風高等学校 学習指導計画

教科名	国語	科目名	◎言語文化	略称	現文	単位数	2
教科書等	701 新編言語文化（東京書籍）						
課題レポート	6 回	スクーリング回数	2 回	視聴レポート上限	1 回		
試験範囲	課題レポートおよびスクーリングで扱った内容から出題する。						

1. 学習の到達目標

生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

2. 学習における留意事項

--

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	さくらさくらさくら、とんかつ、漢字・語句の学習、「美しい」ということ	第1回	教科書p.210-213、p.233、236
第2回	柳あおめる【短歌】、雪の深さを【俳句】、冬が来た、漢字・語句の学習	第2回	教科書p.144-145、p.170-171
第3回	羅生門、夢十夜、漢字・語句の学習		
第4回	徒然草、古典作品について、【古典】現代仮名遣いについて、折々のうた		
第5回	伊勢物語、平家物語、奥の細道		
第6回	訓読の基本、故事成語、絶句と律詩、論語		

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポート、単位認定試験による総合評価とする。

5. 備考

--

令和7年度 英風高等学校 学習指導計画

教科名	国語	科目名	論理国語-α	略称	論国α	単位数	2
教科書等	701 新編論理国語（東京書籍）						
課題レポート	6 回	スクーリング回数	2 回	視聴レポート上限	1 回		
試験範囲	課題レポートおよびスクーリングで扱った内容から出題する。						

1. 学習の到達目標

実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。

2. 学習における留意事項

「論理国語(4単位)」の分割履修。主として前半部分を扱う。

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	・対話とは何か ・世界をつくり替えるために	第1回	教科書p.8-p.74
第2回	・少女たちの「ひろしま」 ・「ふしぎ」ということ	第2回	教科書p.76-166
第3回	・学ぶことと人間の知恵 ・ラップトップ抱えた「石器人」		
第4回	・思考の肺活量 ・安心について		
第5回	・弱肉強食は自然の摂理か ・複数の「わたし」		
第6回	・はじめに「言葉」がある ・楽に働くこと、楽しく働くこと		

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポート、単位認定試験による総合評価とする。

5. 備考

現代の国語および言語文化の履修を前提とする。

令和7年度 英風高等学校 学習指導計画

教科名	国語	科目名	論理国語-β	略称	論国β	単位数	2
教科書等	701 新編論理国語（東京書籍）						
課題レポート		6 回	スクーリング回数		2 回	視聴レポート上限	1 回
試験範囲		課題レポートおよびスクーリングで扱った内容から出題する。					

1. 学習の到達目標

論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

2. 学習における留意事項

「論理国語(4単位)」の分割履修。主として後半部分を扱う。

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	・最初のペンギン ・豊かさとは生物多様性	第1回	教科書p.168～230
第2回	・物語の外から ・カフェの開店準備	第2回	教科書p.232～301
第3回	・鏡としてのアンドロイド ・ロボットが隣人になるとき		
第4回	・言葉は「物の名前」ではない ・科学的「発見」とは		
第5回	・知識における作者性と構造的性 ・もう一つの知性		
第6回	・ホンモノのおカネの作り方 ・未来のありか		

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポート、単位認定試験による総合評価とする。

5. 備考

現代の国語および言語文化の履修を前提とする。

令和7年度 英風高等学校 学習指導計画

教科名	国語	科目名	文学国語-α	略称	文国 α	単位数	2
教科書等	701 文学国語（東京書籍）						
課題レポート	6 回	スクーリング回数	2 回	視聴レポート上限	1 回		
試験範囲	課題レポートおよびスクーリングで扱った内容から出題する。						

1. 学習の到達目標

生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深め、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばす。
--

2. 学習における留意事項

「文学国語(4単位)」の分割履修。主として前半部分を扱う。

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	・光の窓 ・雨月物語 ・山月記	第1回	教科書p.20-p.33
第2回	・窓 ・言葉を生きる ・詩と感情生活	第2回	教科書p.58-70
第3回	・山椒魚 ・沖縄の手記から		
第4回	・永訣の朝 ・硝子の駒 ・竹 ・モードの変遷		
第5回	・こころ		
第6回	・文学のふるさと ・文学の未来 ・鞆 ・あの朝		

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポート、単位認定試験による総合評価とする。

5. 備考

現代の国語および言語文化の履修を前提とする。

令和7年度 英風高等学校 学習指導計画

教科名	国語	科目名	文学国語-β	略称	文国β	単位数	2
教科書等	701 文学国語（東京書籍）						
課題レポート	6 回	スクーリング回数	2 回	視聴レポート上限	1 回		
試験範囲	課題レポートおよびスクーリングで扱った内容から出題する。						

1. 学習の到達目標

創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

2. 学習における留意事項

「文学国語(4単位)」の分割履修。主として後半部分を扱う。

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	・書かれた風景の中へ ・檸檬	第1回	教科書p206～p215
第2回	・コンビニの母 ・小諸なる古城のほとり ・平気	第2回	教科書p292～p328
第3回	・空っぽの瓶 ・クレールという女 ・父と暮せば		
第4回	・舞姫		
第5回	・演技する「私」 ・映画の可能性のために		
第6回	・葉桜と魔笛 ・蠅		

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポート、単位認定試験による総合評価とする。

5. 備考

現代の国語および言語文化の履修を前提とする。

令和7年度 英風高等学校 学習指導計画

教科名	国語	科目名	国語表現-α	略称	国表α	単位数	2
教科書等	702 国語表現（東京書籍）						
課題レポート		6 回	スクーリング回数		2 回	視聴レポート上限	1 回
試験範囲		課題レポートおよびスクーリングで扱った内容から出題する。					

1. 学習の到達目標

実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

2. 学習における留意事項

「国語表現(4単位)」の分割履修。主として前半部分を扱う。

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	1 分かりやすく説明しよう 情報の整理・伝達(ポイント①・②)	第1回	教科書p.16-25
第2回	1 分かりやすく説明しよう 情報の整理・伝達(ポイント③・④)	第2回	教科書p.46-53
第3回	2 身体で表現しよう		
第4回	3 「問い」を考えよう インタビュー(ステップ①・②)		
第5回	3 「問い」を考えよう インタビュー(ステップ③・④)		
第6回	4 「自分」を表現しよう 面接・自己PR		

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポート、単位認定試験による総合評価とする。

5. 備考

現代の国語および言語文化の履修を前提とする。

令和7年度 英風高等学校 学習指導計画

教科名	国語	科目名	国語表現-β	略称	国表β	単位数	2
教科書等	702 国語表現（東京書籍）						
課題レポート	6 回	スクーリング回数	2 回	視聴レポート上限	1 回		
試験範囲	課題レポートおよびスクーリングで扱った内容から出題する。						

1. 学習の到達目標

論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする

2. 学習における留意事項

「国語表現(4単位)」の分割履修。主として後半部分を扱う。

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	5 論理的な文章を書こう 小論文 A テーマ型 小論文	第1回	教科書p.82-109
第2回	5 論理的な文章を書こう 小論文 B 課題文型 小論文	第2回	教科書p.168-183
第3回	6 話し合う力をつけよう ファシリテーション		
第4回	7 情報活用力を身につけよう 広報資料		
第5回	8 説得力のある提案をしよう プレゼンテーション		
第6回	9 表現を楽しもう 創作		

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポート、単位認定試験による総合評価とする。

5. 備考

現代の国語および言語文化の履修を前提とする。

令和7年度 英風高等学校 学習指導計画

教科名	国語	科目名	古典探究-α	略称	古探α	単位数	2
教科書等	701 新編古典探究（東京書籍）						
課題レポート		6 回	スクーリング回数		2 回	視聴レポート上限	1 回
試験範囲		課題レポートおよびスクーリングで扱った内容から出題する。					

1. 学習の到達目標

生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

2. 学習における留意事項

「古典探究(4単位)」の分割履修。主として前半部分を扱う。

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	・宇治拾遺物語 ・十訓抄 ・徒然草	第1回	教科書p.54-p.74
第2回	・方丈記 ・竹取物語 ・小倉百人一首の世界	第2回	教科書p.118-138
第3回	・土佐日記 ・更級日記 ・平家物語		
第4回	・世間胸算用 ・おらが春 ・枕草子		
第5回	・伊勢物語 ・大和物語 ・大鏡		
第6回	・袋草紙 ・無名抄 ・古今和歌集仮名序 ・源氏物語		

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポート、単位認定試験による総合評価とする。

5. 備考

現代の国語および言語文化の履修を前提とする。

令和7年度 英風高等学校 学習指導計画

教科名	国語	科目名	古典探究-β	略称	古探β	単位数	2
教科書等	701 新編古典探究（東京書籍）						
課題レポート	6 回	スクーリング回数	2 回	視聴レポート上限	1 回		
試験範囲	課題レポートおよびスクーリングで扱った内容から出題する。						

1. 学習の到達目標

論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

2. 学習における留意事項

「古典探究(4単位)」の分割履修。主として後半部分を扱う。

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	・近世俳句抄 ・去来抄 ・三冊子 ・古事記	第1回	教科書p175～p176
第2回	・小話―四編 ・唐詩―八種 ・文―二編	第2回	教科書p208～p210
第3回	・項羽と劉邦 ・寓話―五編		
第4回	・十八史略 ・小話―三編		
第5回	・古体詩―五首 ・廉頗と藺相如		
第6回	・儒家と道家 ・詩―二首 ・信玄と謙信		

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポート、単位認定試験による総合評価とする。

5. 備考

現代の国語および言語文化の履修を前提とする。

教科名	国語	科目名	(学)国語基礎	略称	国基	単位数	2
教科書等	ラスパ国語（東京書籍）						
課題レポート	6 回	スクーリング回数	2 回	視聴レポート上限	1 回		
試験範囲	課題レポートおよびスクーリングで扱った内容から出題する。						

1. 学習の到達目標

小学校, 中学校の学習内容を振り返り, 高校で国語を学ぶための基礎を身につける。
--

2. 学習における留意事項

--

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	形が似た漢字 熟語の意味 送りがなに注意する漢字 同音異義語・同訓異字 慣用句 ことわざ	第1回	慣用句・送り仮名・ことわざ・漢字・慣用句
第2回	慣用句 敬語 部首 故事成語 送りがなに注意する漢字 主語・述語	第2回	練習問題演習
第3回	漢字の読み方 漢字 ことわざ 同じ部首の漢字 敬語		
第4回	熟字訓 ことわざ 四字熟語 対義語 多くの読みを持つ漢字 慣用句 漢字		
第5回	三字熟語・四字熟語 類義語・対義語 同じ音の漢字 慣用句 漢字		
第6回	主語・述語・装飾語の関係 敬語 言葉づかい 三字熟語 四字熟語 対義語 漢字 故事成語		

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポート、単位認定試験による総合評価とする。

5. 備考

--

教科名	地理歴史	科目名	◎地理総合	略称	地総	単位数	2
教科書等	701 地理総合（東京書籍）						
課題レポート	6 回	スクーリング回数	2 回	視聴レポート上限	1 回		
試験範囲	課題レポートおよびスクーリングで扱った内容から出題する。						

1. 学習の到達目標

地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解する。

2. 学習における留意事項

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	第1編 地図や地理情報システムでとらえる現代世界 第1章 私が暮らす世界 第2章 地図や地理情報システムの役割	第1回	教科書P.180～183
第2回	第3章 資料から読み取る現代世界 第2編 国際理解と国際協力 第1章 人々の生活文化と多様な地理的環境 1節 生活文化の多様性と国際理解	第2回	教科書P.124～133
第3回	2節 生活文化と自然環境①地形 3節 生活文化と自然環境②気候		
第4回	4節 生活文化と産業 第2章 さまざまな地球的課題と国際協力 1節 地球環境問題 2節 資源・エネルギー問題		
第5回	3節 人口問題 4節 食料問題 5節 居住・都市問題 6節 民族問題 7節 持続可能な社会の実現をめざして		
第6回	第3編 持続可能な地域づくりと私たち 第1章 自然環境と防災 第2章 生活圏の調査と地域の展望		

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポート、単位認定試験による総合評価とする。

5. 備考

令和7年度 英風高等学校 学習指導計画

教科名	地理歴史	科目名	地理探究-α	略称	地探α	単位数	2
教科書等	701地理探究（東京書籍）						
課題レポート		6 回	スクーリング回数		2 回	視聴レポート上限	1 回
試験範囲		課題レポートおよびスクーリングで扱った内容から出題する。					

1. 学習の到達目標

地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解する。

2. 学習における留意事項

「地理探究（4単位）」の分割履修。主として前半部分を扱う。

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	地理探究へのステップ 第1編 現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境 1節 世界の地形	第1回	教科書P.12～26
第2回	2節 気候と自然環境 3節 気候と人々の生活	第2回	教科書P.66～79
第3回	4節 日本の自然環境と自然災害 5節 世界の環境問題 第2章 産業と資源 1節 産業の発展と社会的分業		
第4回	2節 農林水産業 3節 食糧問題 4節 エネルギーと鉱産資源		
第5回	5節 資源・エネルギー問題 6節 工業に立地と工業地域の変容 7節 第三次産業		
第6回	第3章 交通・通信、貿易、観光 1節 交通・通信 2節 貿易と経済連携 3節 観光 第4章 人口、村落・都市 1節 人口		

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポート、単位認定試験による総合評価とする。

5. 備考

地理総合の履修を前提とする。

令和7年度 英風高等学校 学習指導計画

教科名	地理歴史	科目名	地理探究-β	略称	地探β	単位数	2
教科書等	701地理探究（東京書籍）						
課題レポート	6回	スクーリング回数	2回	視聴レポート上限	1回		
試験範囲	課題レポートおよびスクーリングで扱った内容から出題する。						

1. 学習の到達目標

地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察する。

2. 学習における留意事項

「地理探究(4単位)」の分割履修。主として後半部分を扱う。

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	第4章 2節 人口問題 3節 村落・都市 4節 居住・都市問題 第5章 生活文化、民族・宗教 1節 生活文化の地域性	第1回	教科書P.196～201
第2回	2節 民族・言語・宗教 3節 民族問題 4節 現代の国家と領土問題 第2編 現代世界の地誌的考察 第1章 現代世界の地域区分 1節 地域区分の意義と方法	第2回	教科書P.298～303
第3回	第2章 現代世界の諸地域 1節 東アジア 2節 東南アジア 3節 南アジア		
第4回	4節 西アジアと中央アジア 5節 北アフリカとサハラ以南アフリカ 6節 ヨーロッパ		
第5回	7節 ロシア 8節 アングロアメリカ 9節 ラテンアメリカ		
第6回	10節 オセアニア 第3編 現代世界と日本の国土像 第1章 持続可能な国土像の探究 1節 日本の地理的諸課題を読み解く 2節 持続可能な国土像		

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポート、単位認定試験による総合評価とする。

5. 備考

--

令和7年度 英風高等学校 学習指導計画

教科名	地理歴史	科目名	◎歴史総合	略称	歴総	単位数	2
教科書等	701 新選歴史総合（東京書籍）						
課題レポート	6 回	スクーリング回数	2 回	視聴レポート上限	1 回		
試験範囲	課題レポートおよびスクーリングで扱った内容から出題する。						

1. 学習の到達目標

近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。
--

2. 学習における留意事項

--

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	第1章 歴史の扉 第2章 近代化と私たち 1節 近代化への問い 2節 結び付く世界と日本の開国	第1回	教科書P.92～95
第2回	3節 国民国家と明治維新 4節 近代化と現代的な諸課題	第2回	教科書p.186～189
第3回	第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち 1節 国際秩序の変化や大衆化への問い 2節 第一次世界大戦と大衆社会		
第4回	3節 経済危機と第二次世界大戦 4節 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題		
第5回	第4章 グローバル化と私たち 1節 グローバル化への問い 2節 冷戦と世界経済		
第6回	3節 世界秩序の変容と日本 4節 現代的な諸課題の形成と展望		

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポート、単位認定試験による総合評価とする。

5. 備考

--

教科名	地理歴史	科目名	日本史探究-α	略称	日探α	単位数	2
教科書等	701 日本史探究（東京書籍）						
課題レポート	6 回	スクーリング回数	2 回	視聴レポート上限	1 回		
試験範囲	課題レポートおよびスクーリングで扱った内容から出題する。						

1. 学習の到達目標

我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解する。
--

2. 学習における留意事項

「日本史探究(4単位)」の分割履修。主として前半部分を扱う。

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	第1編 先史・古代の日本と東アジア 第1章 先史社会の生活と文化 第2章 歴史資料と先史・古代の展望 第3章 古代社会の形成と展開 1節 1・2	第1回	教科書P.48～51
第2回	第3章 古代社会の形成と展開 1節 3・4 2節	第2回	教科書p.33・46・56・58・67・73
第3回	第2編 中世の日本と世界 第1章 中世社会の成立 第2章 歴史資料と中世の展望 第3章 中世社会の展開 1節		
第4回	第3章 中世社会の展開 2節		
第5回	第3編 近世の日本と世界 第1章 近世社会の形成 第2章 歴史資料と近世の展望 第3章 近世社会の展開 1節 1		
第6回	第3章 近世社会の展開 1節 2・3・4・5		

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポート、単位認定試験による総合評価とする。

5. 備考

歴史総合の履修を前提とする。

令和7年度 英風高等学校 学習指導計画

教科名	地理歴史	科目名	日本史探究-β	略称	日探β	単位数	2
教科書等	701 日本史探究（東京書籍）						
課題レポート	6 回	スクーリング回数	2 回	視聴レポート上限	1 回		
試験範囲	課題レポートおよびスクーリングで扱った内容から出題する。						

1. 学習の到達目標

我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する。

2. 学習における留意事項

「日本史探究(4単位)」の分割履修。主として後半部分を扱う。

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	第3章 近世社会の展開 2節	第1回	教科書p.128～129
第2回	第4編 近現代の地域・日本と世界 第1章 近代社会の幕開け 第2章 歴史資料と近現代の展望 第3章 近現代社会の展望 1節	第2回	教科書P.156～157、160
第3回	第3章 近現代社会の展望 2節		
第4回	第3章 近現代社会の展望 3節・4節		
第5回	第3章 近現代社会の展望 5節・6節		
第6回	第3章 近現代社会の展望 7節・8節 第4章 現代の日本の課題の探究		

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポート、単位認定試験による総合評価とする。

5. 備考

--

令和7年度 英風高等学校 学習指導計画

教科名	地理歴史	科目名	世界史探究-α	略称	世探α	単位数	2
教科書等	701 世界史探究（東京書籍）						
課題レポート	6 回	スクーリング回数	2 回	視聴レポート上限	1 回		
試験範囲	課題レポートおよびスクーリングで扱った内容から出題する。						

1. 学習の到達目標

世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解する。

2. 学習における留意事項

「世界史探究(4単位)」の分割履修。主として前半部分を扱う。

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	序章 世界史へのまなざし 第1編 諸地域の歴史的特質 第1章 古代文明の出現	第1回	教科書P.44～49
第2回	第2章 西アジアと地中海周辺	第2回	教科書P.89～95
第3回	第3章 南アジア 第4章 東南アジア 第5章 東アジアと中央ユーラシア		
第4回	第6章 アフリカ、オセアニア、古アメリカ 第2編 諸地域の交流と再編 第7章 イスラーム世界の拡大と繁栄		
第5回	第8章 中世ヨーロッパ 第9章 中華世界の変容とモンゴル帝国		
第6回	第10章 インド洋海域世界の発展と東南アジア 第11章 大交易時代と世界の一体化		

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポート、単位認定試験による総合評価とする。

5. 備考

歴史総合の履修を前提とする。

令和7年度 英風高等学校 学習指導計画

教科名	地理歴史	科目名	世界史探究-β	略称	世探β	単位数	2
教科書等	701 世界史探究（東京書籍）						
課題レポート		6 回	スクーリング回数		2 回	視聴レポート上限	1 回
試験範囲		課題レポートおよびスクーリングで扱った内容から出題する。					

1. 学習の到達目標

世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する。

2. 学習における留意事項

「世界史探究(4単位)」の分割履修。主として後半部分を扱う。

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	第12章 ユーラシア諸帝国の繁栄 第13章 主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大	第1回	教科書P.167～171
第2回	第3編 一体化していく世界 第14章 国民国家と近代社会の形成	第2回	教科書P.300～302
第3回	第15章 世界市場の形成とアジア諸国の変容 第16章 アジア・アフリカ諸国の統治再編と世界分割の進行		
第4回	第17章 第一次世界大戦の展開と諸地域の変容 第18章 国際協調体制の動揺と第二次世界大戦		
第5回	第19章 第二次世界大戦と戦後の東アジア 第4編 グローバル化と地球的課題 第20章 冷戦の世界化と国際制度		
第6回	第21章 冷戦の変容・終結と経済のグローバル化 第22章 21世紀の地球的課題と人類社会		

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポート、単位認定試験による総合評価とする。

5. 備考

--

教科名	公民	科目名	◎公共	略称	公共	単位数	2
教科書等	701 公共（東京書籍）						
課題レポート	6 回	スクーリング回数	2 回	視聴レポート上限	1 回		
試験範囲	課題レポートおよびスクーリングで扱った内容から出題する。						

1. 学習の到達目標

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

2. 学習における留意事項

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	第1部 「公共」のとびら 第1章 公共的な空間をつくる私たち—社会のなかの自己 第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方	第1回	教科書P.20・21
第2回	第3章 公共的な空間における基本的原理 第2部 自立した主体として社会に参画する私たち 第1章 民主政治と私たち	第2回	教科書p.130・131
第3回	第2章 法の働きと私たち		
第4回	第3章 経済社会で生きる私たち		
第5回	第4章 私たちの職業生活 第5章 国際社会のなかで生きる私たち テーマ1・テーマ2		
第6回	第5章 国際社会のなかで生きる私たち テーマ3・テーマ4 第3部 持続可能な社会づくりに参画するために		

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポート、単位認定試験による総合評価とする。

5. 備考

教科名	公民	科目名	倫理	略称	倫理	単位数	2
教科書等	701 倫理（東京書籍）						
課題レポート	6 回	スクーリング回数	2 回	視聴レポート上限	1 回		
試験範囲	課題レポートおよびスクーリングで扱った内容から出題する。						

1. 学習の到達目標

古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解する。

2. 学習における留意事項

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方 1章 人間の心のあり方 2章 さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅰ 1節 哲学すること 2節 ギリシャの思想	第1回	教科書p.100～103
第2回	3節 宗教と社会 4節 キリスト教 5節 イスラーム 6節 仏教 7節 中国の思想 8節 芸術	第2回	教科書P.120～121
第3回	3章 さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ 1節 近代と人間蘇張の精神 2節 近代思想の展開 3節 人格の尊厳と人倫の思想 4節 社会変革の思想 5節 理性への疑念		
第4回	6節 人間観・言語観の問いなおし 7節 他者・自然とのかかわり 4章 国際社会に生きる日本人としての自覚 1節 日本人の精神風土		
第5回	2節 仏教と日本人の思想形成 3節 儒教と日本人の思想形成 4節 国学の思想 5節 庶民の思想 6節 西洋思想と日本人の近代化		
第6回	7節 国際社会に生きる日本人の自覚 第2編 現代の諸課題と倫理		

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポート、単位認定試験による総合評価とする。

5. 備考

公共の履修を前提とする。

令和7年度 英風高等学校 学習指導計画

教科名	公民	科目名	政治・経済	略称	政経	単位数	2
教科書等	701 政治・経済（東京書籍）						
課題レポート	6 回	スクーリング回数	2 回	視聴レポート上限	1 回		
試験範囲	課題レポートおよびスクーリングで扱った内容から出題する。						

1. 学習の到達目標

社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解する。

2. 学習における留意事項

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	第1編 現代日本の政治と経済 第1章 現代日本の政治 1節 民主政治の基本原則 2節 日本国憲法の基本原則	第1回	教科書P.196～197
第2回	3節 日本の政治機構 4節 現代政治の特質と課題	第2回	教科書P.246～247
第3回	第2章 現代日本の経済 1節 現代の資本主義経済 2節 現代経済のしくみ		
第4回	3節 日本経済の発展と現状 4節 福祉社会と日本経済の課題		
第5回	第3章 現代日本の諸課題 第2編 グローバル化する国際社会 第1章 現代の国際政治		
第6回	第2章 現代の国際経済 第3章 国際社会の諸課題		

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポート、単位認定試験による総合評価とする。

5. 備考

公共の履修を前提とする。

令和7年度 英風高等学校 学習指導計画

教科名	数学	科目名	◎数学Ⅰ	略称	数Ⅰ	単位数	3
教科書等	704 新数学Ⅰ（東京書籍）						
課題レポート	6 回	スクーリング回数	3 回	視聴レポート上限	1 回		
試験範囲	課題レポートおよびスクーリングで扱った内容から出題する。						

1. 学習の到達目標

数と式, 図形と計量, 二次関数, データの分析の学習を通して, それぞれの性質や関係に着目し, 数学的な見方・考え方を働かせることができるようになる。

2. 学習における留意事項

添削指導のため, 課題レポートにはなるべく計算過程を書き残してください。数学は積み重ねが非常に重要な教科です。コツコツと学習し, 計画的にレポートを進めましょう。また, 分からないところは遠慮せず質問してください。

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	1章 数と式 1節 文字と式	第1回	教科書p.58~67
第2回	2節 実数	第2回	教科書p.78~87
第3回	3節 方程式と不等式	第3回	教科書p.104~109
第4回	2章 2次関数 1節 2次関数とそのグラフ		
第5回	2節 2次関数の値の変化		
第6回	3章 三角比 1節 鋭角の三角比		
第7回	2節 三角比の応用		
第8回	4章 データの分析		
第9回	5章 集合と論証		

4. 学習評価について

各観点について, スクーリング, レポート, 単位認定試験による総合評価とする。

5. 備考

--

令和7年度 英風高等学校 学習指導計画

教科名	数学	科目名	数学Ⅱ-α	略称	数Ⅱ α	単位数	2
教科書等	717 新数学Ⅱ（東京書籍）						
課題レポート	6 回	スクーリング回数	2 回	視聴レポート上限	1 回		
試験範囲	課題レポートおよびスクーリングで扱った内容から出題する。ただし、数値等は同じとは限らない。						

1. 学習の到達目標

方程式・式と証明, 図形と方程式, 三角関数の学習を通して, それぞれの性質や関係に着目し, 数学的な見方・考え方を働かせることができるようになる。
--

2. 学習における留意事項

添削指導のため、課題レポートにはなるべく計算過程を書き残してください。数学は積み重ねが非常に重要な教科です。コツコツと学習し、計画的にレポートを進めましょう。また、分からないところは遠慮せず質問してください。
--

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	1章 方程式・式と証明 1節 式の計算	第1回	教科書p.18-p.21
第2回	2節 2次方程式	第2回	教科書p.78-p.81
第3回	3節 高次方程式 4節 式と証明		
第4回	2章 図形と方程式 1節 座標と直線の方程式		
第5回	2節 円の方程式 3節 不等式の表す領域		
第6回	3章 三角関数 1節 三角関数		

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポート、単位認定試験による総合評価とする。

5. 備考

数学Ⅰの履修を前提とする。

令和7年度 英風高等学校 学習指導計画

教科名	数学	科目名	数学Ⅱ-β	略称	数Ⅱβ	単位数	2
教科書等	717 新数学Ⅱ（東京書籍）						
課題レポート	6 回	スクーリング回数	2 回	視聴レポート上限	1 回		
試験範囲	課題レポートおよびスクーリングで扱った内容から出題する。ただし、数値等は同じとは限らない。						

1. 学習の到達目標

三角関数, 指数関数と対数関数, 微分と積分の学習を通して, それぞれの性質や関係に着目し, 数学的な見方・考え方を働かせることができるようになる。

2. 学習における留意事項

添削指導のため、課題レポートにはなるべく計算過程を書き残してください。数学は積み重ねが非常に重要な教科です。コツコツと学習し、計画的にレポートを進めましょう。また、分からないところは遠慮せず質問してください。

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	2節 加法定理	第1回	教科書p.112-115
第2回	4章 指数関数と対数関数 1節 指数関数	第2回	教科書p.126-132
第3回	2節 対数関数		
第4回	5章 微分と積分 1節 微分係数と導関数		
第5回	2節 導関数の応用		
第6回	3節 積分		

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポート、単位認定試験による総合評価とする。

5. 備考

数学Ⅰの履修を前提とする。

教科名	数学	科目名	数学Ⅲ	略称	数Ⅲ	単位数	3
教科書等	702 数学Ⅲ Standard（東京書籍）						
課題レポート		6 回	スクーリング回数		3 回	視聴レポート上限	1 回
試験範囲		課題レポートおよびスクーリングで扱った内容から出題する。					

1. 学習の到達目標

極限, 微分法と積分法の学習を通して, それぞれの性質や関係に着目し, 数学的な見方・考え方を働かせることができるようになる。

2. 学習における留意事項

添削指導のため、課題レポートにはなるべく計算過程を書き残してください。数学は積み重ねが非常に重要な教科です、コツコツと学習し、計画的にレポートを進めましょう。また、分からないところは遠慮せず質問してください。
--

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	1章 関数と極限 1節 関数	第1回	関数と極限
第2回	2節 数列の極限	第2回	微分とその応用
第3回	3節 関数の極限	第3回	積分
第4回	2章 微分 1節 微分法 2節 いろいろな関数の導関数		
第5回	3章 微分の応用 1節 関数の増減		
第6回	2節 微分のいろいろな応用		
第7回	4章 微分とその応用 1節 不定積分		
第8回	2節 定積分		
第9回	3節 面積・体積・長さ		

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポート、単位認定試験による総合評価とする。

5. 備考

数学Ⅱの履修を前提とする。

教科名	数学	科目名	数学A	略称	数A	単位数	2
教科書等	704 新数学A（東京書籍）						
課題レポート	6 回	スクーリング回数	2 回	視聴レポート上限	1 回		
試験範囲	課題レポートおよびスクーリングで扱った内容から出題する。						

1. 学習の到達目標

図形の性質, 場合の数と確率の学習を通して, それぞれの性質や関係に着目し, 数学的な見方・考え方を働かせることができるようになる。
--

2. 学習における留意事項

添削指導のため、課題レポートにはなるべく計算過程を書き残してください。数学は積み重ねが非常に重要な教科です。コツコツと学習し、計画的にレポートを進めましょう。また、分からないところは遠慮せず質問してください。
--

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	1章 場合の数と確率 1節 場合の数	第1回	教科書p.4～11
第2回	2節 確率 ①～④	第2回	教科書p.50～51, p.74～76
第3回	2節 確率 ⑤～⑥		
第4回	2章 図形の性質 1節 平面図形の基礎		
第5回	2節 三角形の性質		
第6回	3節 円の性質 4節 空間図形		

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポート、単位認定試験による総合評価とする。

5. 備考

--

教科名	数学	科目名	数学B	略称	数B	単位数	2
教科書等	702 数学B Standard（東京書籍）						
課題レポート	6 回	スクーリング回数	2 回	視聴レポート上限	1 回		
試験範囲	課題レポートおよびスクーリングで扱った内容から出題する。						

1. 学習の到達目標

数列, 統計的な推測の学習を通して, それぞれの性質や関係に着目し, 数学的な見方・考え方を働かせることができるようになる。

2. 学習における留意事項

添削指導のため、課題レポートにはなるべく計算過程を書き残してください。数学は積み重ねが非常に重要な教科です。コツコツと学習し、計画的にレポートを進めましょう。また、分からないところは遠慮せず質問してください。

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	1章 数列 1節 数列	第1回	教科書p.10-14, 16-17, 20-23
第2回	2節 いろいろな数列	第2回	教科書p.82-87
第3回	3節 漸化式と数学的帰納法		
第4回	2章 統計的な推測 1節 標本調査 2節 確率分布		
第5回	3節 正規分布		
第6回	4節 統計的な推測		

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポート、単位認定試験による総合評価とする。

5. 備考

数学Ⅰの履修を前提とする。

令和7年度 英風高等学校 学習指導計画

教科名	数学	科目名	数学C	略称	数C	単位数	2
教科書等	702 数学C Standard（東京書籍）						
課題レポート	6 回	スクーリング回数	2 回	視聴レポート上限	1 回		
試験範囲	課題レポートおよびスクーリングで扱った内容から出題する。						

1. 学習の到達目標

ベクトル, 平面上の曲線と複素数平面の学習を通して, それぞれの性質や関係に着目し, 数学的な見方・考え方を働かせることができるようになる。
--

2. 学習における留意事項

添削指導のため, 課題レポートにはなるべく計算過程を書き残してください。数学は積み重ねが非常に重要な教科です。コツコツと学習し, 計画的にレポートを進めましょう。また, 分からないところは遠慮せず質問してください。

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	1章 ベクトル 1節 平面のベクトル	第1回	ベクトル・二次曲線
第2回	2節 ベクトルの応用 3節 空間におけるベクトル	第2回	複素数平面・数学的な表現の工夫 1節 統計グラフに表す
第3回	2章 平面上の曲線 1節 2次曲線		
第4回	2節 媒介変数表示と極座標		
第5回	3章 複素数平面 1節 複素数平面 2節 図形への応用		
第6回	4章 数学的な表現の工夫 1節 統計グラフに表す 2節 行列に表す 3節 離散グラフに表す		

4. 学習評価について

各観点について, スクーリング, レポート, 単位認定試験による総合評価とする。
--

5. 備考

数学 I の履修を前提とする。

教科名	数学	科目名	(学)数学基礎	略称	数基	単位数	2
教科書等	ラスパ数学（東京書籍）						
課題レポート	6 回	スクーリング回数	2 回	視聴レポート上限	1 回		
試験範囲	課題レポートおよびスクーリングで扱った内容から出題する。						

1. 学習の到達目標

小学校, 中学校の学習内容を振り返り, 高校数学を学ぶための基礎を身につける。

2. 学習における留意事項

添削指導のため, 課題レポートにはなるべく計算過程を書き残してください。数学は積み重ねが非常に重要な教科です。コツコツと学習し, 計画的にレポートを進めましょう。また, 分からないところは遠慮せず質問してください。

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	整数(小数)の加減① 整数(小数)の加減② 図形の内角の和を使った図形問題 整数(小数)の乗除① 整数(小数)の乗除②	第1回	練習問題演習
第2回	割合、百分率の問題 2乗、3乗の計算 図形の面積や体積を求める問題 分数の加減(同分母) 分数の加減(異分母) 分数の加減(約分の必要な計算)	第2回	分数の計算
第3回	割合・比の問題 時間→分、分→時間 分数の乗法 分数の除法 速さ・道のり・時間の関係		
第4回	反比例の関係を用いる問題 文字式のきまり 文字式の計算(多項式)±(多項式) 20 文字式の計算(多項式)×(数)etc … 式の値		
第5回	1次方程式①② 1次方程式の文章題①② 連立方程式(加減法)(代入法)		
第6回	連立方程式の文章題 比例式の計算 相似な図形と比例式 平方根の定義、 $\sqrt{a^2b}=a\sqrt{b}$ の変形(2は2乗) 平方根の四則計算		

4. 学習評価について

各観点について, スクーリング, レポート, 単位認定試験による総合評価とする。

5. 備考

令和7年度 英風高等学校 学習指導計画

教科名	理科	科目名	〇〇科学と人間生活		略称	科人	単位数	2
教科書等	701 科学と人間生活（東京書籍）							
課題レポート		6 回	スクーリング回数		8 回	視聴レポート上限		4 回
試験範囲		課題レポートおよびスクーリングで扱った内容から出題する。						

1. 学習の到達目標

自然の事物・現象に関わり, 理科の見方・考え方を働かせ, 自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。

2. 学習における留意事項

--

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	1編 生命の科学 1章 微生物とその利用	第1回	教科書p.14～37
第2回	2章 ヒトの生命現象	第2回	教科書p.38～65
第3回	2編 物質の科学 1章 材料とその再利用	第3回	教科書p.66～93
第4回	2章 衣料と食品	第4回	教科書p.94～115
第5回	3編 光や熱の科学 1章 光の性質とその利用	第5回	教科書p.116～137
第6回	2章 熱の性質とその利用	第6回	教科書p.138～157
		第7回	教科書p.158～179
第8回	0	第8回	教科書p.180～207

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポート、単位認定試験による総合評価とする。

5. 備考

--

令和7年度 英風高等学校 学習指導計画

教科名	理科	科目名	○物理基礎	略称	物基	単位数	2
教科書等	702 新編物理基礎（東京書籍）						
課題レポート		6 回	スクーリング回数		8 回	視聴レポート上限	4 回
試験範囲		課題レポートおよびスクーリングで扱った内容から出題する。					

1. 学習の到達目標

物体の運動と様々なエネルギーに関わり, 理科の見方・考え方を働かせ, 物体の運動と様々なエネルギーを科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。

2. 学習における留意事項

--

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	1編 物体の運動とエネルギー 1章 直線運動の世界	第1回	教科書p.10～33
第2回	2章 カと運動の法則	第2回	教科書p.34～73
第3回	3章 力学的エネルギー	第3回	教科書p.74～91
第4回	2編 さまざまな物理現象とエネルギー 1章 熱	第4回	教科書p.94～107
第5回	2章 波	第5回	教科書p.108～133
第6回	3章 電気 4章 エネルギーとその利用	第6回	教科書p.134～168
		第7回	教科書p.10～91
		第8回	教科書p.94～165

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポート、単位認定試験による総合評価とする。

5. 備考

--

令和7年度 英風高等学校 学習指導計画

教科名	理科	科目名	物理- α	略称	物 α	単位数	2
教科書等	701 物理（東京書籍）						
課題レポート	6 回	スクーリング回数	8 回	視聴レポート上限	4 回		
試験範囲	課題レポートおよびスクーリングで扱った内容から出題する。						

1. 学習の到達目標

物理的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、物理的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。

2. 学習における留意事項

「物理(4単位)」の分割履修。主として前半部分を扱う。

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	1編 さまざまな運動 1章 平面内の運動 2章 剛体のつり合い	第1回	教科書p.8～42
第2回	3章 運動量 4章 円運動	第2回	教科書p.43～84
第3回	5章 単振動 6章 万有引力	第3回	教科書p.85～120
第4回	7章 気体分子の運動	第4回	教科書p.121～158
第5回	2編 波 1章 波の伝わり方 2章 音	第5回	教科書p.159～188
第6回	3章 光	第6回	教科書p.189～230
		第7回	教科書p.8～120
		第8回	教科書p.121～230

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポート、単位認定試験による総合評価とする。

5. 備考

物理基礎の履修を前提とする。

令和7年度 英風高等学校 学習指導計画

教科名	理科	科目名	物理-β	略称	物β	単位数	2
教科書等	701 物理（東京書籍）						
課題レポート	6 回	スクーリング回数	8 回	視聴レポート上限	4 回		
試験範囲	課題レポートおよびスクーリングで扱った内容から出題する。						

1. 学習の到達目標

物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め, 科学的に探究するために必要な技能を身に付ける。

2. 学習における留意事項

「物理(4単位)」の分割履修。主として後半部分を扱う。

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	3編 電気と磁気 1章 電場と電位	第1回	教科書P.231～274
第2回	2章 電流	第2回	教科書P.275～302
第3回	3章 電流と磁場	第3回	教科書P.303～326
第4回	4章 電磁誘導と電磁波	第4回	教科書P.327～372
第5回	4編 原子 1章 電子と光	第5回	教科書P.373～394
第6回	2章 原子と原子核 終章	第6回	教科書P.395～457
		第7回	教科書P.231～326
		第8回	教科書P.327～457

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポート、単位認定試験による総合評価とする。

5. 備考

物理基礎の履修を前提とする。

令和7年度 英風高等学校 学習指導計画

教科名	理科	科目名	○化学基礎	略称	化基	単位数	2
教科書等	702 新編化学基礎（東京書籍）						
課題レポート		6 回	スクーリング回数		8 回	視聴レポート上限	4 回
試験範囲		課題レポートおよびスクーリングで扱った内容から出題する。					

1. 学習の到達目標

物質とその変化に関わり, 理科の見方・考え方を働かせ, 物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。

2. 学習における留意事項

--

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	1編 化学と人間生活 1章 化学とは何か 2章 物質の成分と構成元素	第1回	教科書p.7～33
第2回	2編 物質の構成 1章 原子の構造と元素の周期表	第2回	教科書p.34～47
第3回	2章 化学結合	第3回	教科書p.48～79
第4回	3編 物質の変化 1章 物質と化学反応式	第4回	教科書p.82～105
第5回	2章 酸と塩基	第5回	教科書p.106～135
第6回	3章 酸化還元反応	第6回	教科書p.136～167
		第7回	教科書p.7～79
		第8回	教科書p.82～167

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポート、単位認定試験による総合評価とする。

5. 備考

--

令和7年度 英風高等学校 学習指導計画

教科名	理科	科目名	化学-α	略称	化α	単位数	2
教科書等	701 化学 Vol.1 理論編（東京書籍）						
課題レポート	6 回	スクーリング回数	8 回	視聴レポート上限	4 回		
試験範囲	課題レポートおよびスクーリングで扱った内容から出題する。						

1. 学習の到達目標

化学的な事物・現象に関わり, 理科の見方・考え方を働かせ, 化学的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。

2. 学習における留意事項

「化学(4単位)」の分割履修。主として理論編を扱う。

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	1編 物質の状態 1章 物質の状態 2章 気体の性質	第1回	教科書p.9~43
第2回	3章 溶液の性質 4章 固体の構造	第2回	教科書p.44~68
第3回	2編 化学反応とエネルギー 1章 化学反応と熱・光	第3回	教科書p.89~111
第4回	2章 電池と電気分解	第4回	教科書p.112~132
第5回	3編 化学反応の速さと平衡 1章 化学反応の速さ 2章 化学平衡 1節 可逆反応と化学平衡	第5回	教科書p.133~161
第6回	2章 化学平衡 2節 平衡の移動 3章 水溶液中の化学平衡	第6回	教科書p.162~194
		第7回	教科書p.9~111
		第8回	教科書p.112~194

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポート、単位認定試験による総合評価とする。

5. 備考

化学基礎の履修を前提とする。

令和7年度 英風高等学校 学習指導計画

教科名	理科	科目名	化学-β	略称	化β	単位数	2
教科書等	701 化学 Vol.2 物質編（東京書籍）						
課題レポート	6 回	スクーリング回数	8 回	視聴レポート上限	4 回		
試験範囲	課題レポートおよびスクーリングで扱った内容から出題する。						

1. 学習の到達目標

化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め, 科学的に探究するために必要な技能を身に付ける。

2. 学習における留意事項

「化学(4単位)」の分割履修。主として物質編を扱う。

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	4編 無機物質 1章 周期表と元素 2章 非金属元素の単体と化合物 3章 典型金属元素の単体と化合物	第1回	教科書P7~65
第2回	4章 遷移元素の単体と化合物 5章 金属イオンの分離と確認	第2回	教科書P66~100
第3回	5編 有機化合物 1章 有機化合物の特徴と構造 2章 炭化水素	第3回	教科書P101~139
第4回	3章 アルコールと関連化合物	第4回	教科書P140~171
第5回	4章 芳香族化合物 6編 高分子化合物 1章 高分子化合物とは何か	第5回	教科書P172~215
第6回	2章 天然高分子化合物 3章 合成高分子化合物 7編 化学が果たす役割 1章 化学的性質の利用と工業的製法 2章 未来を創る化学	第6回	教科書P216~288
		第7回	教科書P7~139
		第8回	教科書P140~288

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポート、単位認定試験による総合評価とする。

5. 備考

化学基礎の履修を前提とする。

令和7年度 英風高等学校 学習指導計画

教科名	理科	科目名	○生物基礎	略称	生基	単位数	2
教科書等	702 新編生物基礎（東京書籍）						
課題レポート		6 回	スクーリング回数		8 回	視聴レポート上限	4 回
試験範囲		課題レポートおよびスクーリングで扱った内容から出題する。					

1. 学習の到達目標

生物や生物現象に関わり, 理科の見方・考え方を働かせ, 生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。

2. 学習における留意事項

--

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	1編 生物の特徴	第1回	教科書p.10～37
第2回	2編 遺伝子とそのはたらき	第2回	教科書p.42～71
第3回	3編 ヒトの体の調節 1章 ヒトの体を調節するしくみ	第3回	教科書p.76～99
第4回	2章 免疫のはたらき	第4回	教科書p.100～117
第5回	4編 生物の多様性と生態系 1章 植生と遷移	第5回	教科書p.122～143
第6回	2章 生態系と生物の多様性	第6回	教科書p.144～165
		第7回	教科書p.10～91
		第8回	教科書p.94～165

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポート、単位認定試験による総合評価とする。

5. 備考

--

教科名	理科	科目名	生物-α	略称	生α	単位数	2
教科書等	701 生物（東京書籍）						
課題レポート	6 回	スクーリング回数	8 回	視聴レポート上限	4 回		
試験範囲	課題レポートおよびスクーリングで扱った内容から出題する。						

1. 学習の到達目標

生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。

2. 学習における留意事項

「生物(4単位)」の分割履修。主として前半部分を扱う。

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	1編 生物の進化 1章 生命の起源と細胞の進化 2章 遺伝子の変化と進化のしくみ 1節	第1回	教科書P8～29
第2回	2章 遺伝子の変化と進化のしくみ 2節～5節	第2回	教科書P30～57
第3回	3章 生物の系統と進化	第3回	教科書P58～85
第4回	2編 生命現象と物質 1章 細胞と物質	第4回	教科書P86～127
第5回	2章 代謝とエネルギー	第5回	教科書P128～159
第6回	3編 遺伝情報の発現と発生 1章 遺伝情報とその発現	第6回	教科書P160～189
		第7回	教科書P8～85
		第8回	教科書P86～189

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポート、単位認定試験による総合評価とする。

5. 備考

生物基礎の履修を前提とする。

令和7年度 英風高等学校 学習指導計画

教科名	理科	科目名	生物-β	略称	生β	単位数	2
教科書等	701 生物（東京書籍）						
課題レポート		6 回	スクーリング回数		8 回	視聴レポート上限	4 回
試験範囲		課題レポートおよびスクーリングで扱った内容から出題する。					

1. 学習の到達目標

生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な基本的技能を身に付ける。

2. 学習における留意事項

「生物(4単位)」の分割履修。主として後半部分を扱う。

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	2章 発生と遺伝子発現	第1回	教科書p.168～187
第2回	3章 遺伝子を扱う技術	第2回	教科書p.188～226
第3回	4編 生物の環境応答 1章 動物の刺激の受容と反応 2章 動物の行動	第3回	教科書p.230～251
第4回	3章 植物の環境応答	第4回	教科書p.252～276
第5回	5編 生態と環境 1章 個体群と生物群集	第5回	教科書p.280～299
第6回	2章 生態系の物質生産と物質循環 3章 生態系と人間生活	第6回	教科書p.300～337
		第7回	教科書p.168～251
		第8回	教科書p.252～337

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポート、単位認定試験による総合評価とする。

5. 備考

生物基礎の履修を前提とする。

令和7年度 英風高等学校 学習指導計画

教科名	理科	科目名	○地学基礎	略称	地基	単位数	2
教科書等	701 地学基礎（東京書籍）						
課題レポート		6 回	スクーリング回数		8 回	視聴レポート上限	4 回
試験範囲		課題レポートおよびスクーリングで扱った内容から出題する。					

1. 学習の到達目標

地球や地球を取り巻く環境に関わり, 理科の見方・考え方を働かせ, 地球や地球を取り巻く環境を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。

2. 学習における留意事項

--

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	1編 私たちの大地 1章 大地とその動き 2章 火山活動と地震	第1回	教科書P14～49
第2回	2編 私たちの空と海 1章 地球の熱収支 2章 大気と海水の運動	第2回	教科書P52～73
第3回	3編 私たちの宇宙の誕生 1章 宇宙の構造と進化	第3回	教科書P76～95
第4回	4編 私たちの地球の歴史 1章 地層と化石の観察 2章 古生物の変遷と地球環境	第4回	教科書P98～127
第5回	5編 地球に生きる私たち 1章 日本の自然の恵みと防災	第5回	教科書P130～147
第6回	終1章 地球環境の考え方 終2章 自然環境の変動 終3章 これからの地球環境	第6回	教科書P148～169
		第7回	教科書P14～95
		第8回	教科書P98～169

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポート、単位認定試験による総合評価とする。

5. 備考

--

令和7年度 英風高等学校 学習指導計画

教科名	保健体育	科目名	◎体育(Ⅰ)-Ⅰ	略称	体Ⅰ	単位数	Ⅰ
教科書等	70Ⅰ 現代高等保健体育（大修館書店）						
課題レポート	6 回	スクーリング回数	5 回	視聴レポート上限	3 回		
試験範囲	単位認定試験は実施しない。						

1. 学習の到達目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成する。

2. 学習における留意事項

主にⅠ年次前期で履修する「体育」のⅠ単位目

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第Ⅰ回	スポーツの発祥と発展①	第Ⅰ回	オリエンテーション・体づくり運動
		第2回	球技①
		第3回	球技②
		第4回	球技③
		第5回	球技④

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポートによる総合評価とする。

5. 備考

令和7年度 英風高等学校 学習指導計画

教科名	保健体育	科目名	◎体育(2)-口	略称	体口	単位数	2
教科書等	701 現代高等保健体育（大修館書店）						
課題レポート		6 回	スクーリング回数		10 回	視聴レポート上限	6 回
試験範囲		単位認定試験は実施しない。					

1. 学習の到達目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成する。

2. 学習における留意事項

主に1年次後期で履修する「体育」の2・3単位目

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	スポーツの発祥と発展②	第1回	オリエンテーション・体づくり運動
第2回	運動・スポーツの学び方①	第2回	球技①
		第3回	球技②
		第4回	球技③
		第5回	球技④
		第6回	体育理論
		第7回	ダンス①
		第8回	ダンス②
		第9回	ダンス③
		第10回	ダンス④

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポートによる総合評価とする。

5. 備考

令和7年度 英風高等学校 学習指導計画

教科名	保健体育	科目名	◎体育(Ⅰ)-ハ		略称	体ハ	単位数	Ⅰ
教科書等	70Ⅰ 現代高等保健体育（大修館書店）							
課題レポート	6 回	スクーリング回数	5 回	視聴レポート上限	3 回			
試験範囲	単位認定試験は実施しない。							

1. 学習の到達目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成する。

2. 学習における留意事項

主に2年次前期で履修する「体育」の4単位目

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第Ⅰ回	運動・スポーツの学び方②	第Ⅰ回	オリエンテーション・体づくり運動
		第2回	球技①
		第3回	球技②
		第4回	球技③
		第5回	球技④

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポートによる総合評価とする。

5. 備考

--

令和7年度 英風高等学校 学習指導計画

教科名	保健体育	科目名	◎体育(2)-ニ	略称	体二	単位数	2
教科書等	701 現代高等保健体育（大修館書店）						
課題レポート	6 回	スクーリング回数	10 回	視聴レポート上限	6 回		
試験範囲	単位認定試験は実施しない。						

1. 学習の到達目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成する。

2. 学習における留意事項

主に2年次後期で履修する「体育」の5・6単位目

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	運動・スポーツの学び方③	第1回	オリエンテーション・体づくり運動
第2回	豊かなスポーツライフの設計①	第2回	球技①
		第3回	球技②
		第4回	球技③
		第5回	球技④
		第6回	体育理論
		第7回	ダンス①
		第8回	ダンス②
		第9回	ダンス③
		第10回	ダンス④

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポートによる総合評価とする。

5. 備考

教科名	保健体育	科目名	◎体育(Ⅰ)-ホ	略称	体ホ	単位数	Ⅰ
教科書等	70Ⅰ 現代高等保健体育（大修館書店）						
課題レポート		6 回	スクーリング回数		5 回	視聴レポート上限	3 回
試験範囲		単位認定試験は実施しない。					

1. 学習の到達目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成する。
--

2. 学習における留意事項

主に3年次前期で履修する「体育」の7単位目

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第Ⅰ回	豊かなスポーツライフの設計②	第Ⅰ回	オリエンテーション・体づくり運動
		第2回	球技①
		第3回	球技②
		第4回	球技③
		第5回	球技④

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポートによる総合評価とする。

5. 備考

--

令和7年度 英風高等学校 学習指導計画

教科名	保健体育	科目名	◎保健-α	略称	保α	単位数	1
教科書等	701 現代高等保健体育（大修館書店）						
課題レポート	6 回	スクーリング回数	1 回	視聴レポート上限	0 回		
試験範囲	課題レポートおよびスクーリングで扱った内容から出題する。						

1. 学習の到達目標

保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成する。

2. 学習における留意事項

「保健」の1単位目

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	現代社会と健康①	第1回	現代社会と健康
第2回	現代社会と健康②		
第3回	現代社会と健康③		

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポート、単位認定試験による総合評価とする。

5. 備考

令和7年度 英風高等学校 学習指導計画

教科名	保健体育	科目名	◎保健-β	略称	保β	単位数	1
教科書等	701 現代高等保健体育（大修館書店）						
課題レポート	6 回	スクーリング回数	1 回	視聴レポート上限	0 回		
試験範囲	課題レポートおよびスクーリングで扱った内容から出題する。						

1. 学習の到達目標

保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成する。

2. 学習における留意事項

「保健」の2単位目

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	安全な社会生活	第1回	安全な社会生活
第2回	生涯を通じる健康		
第3回	健康を支える環境づくり		

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポート、単位認定試験による総合評価とする。

5. 備考

令和7年度 英風高等学校 学習指導計画

教科名	芸術	科目名	○書道Ⅰ	略称	書Ⅰ	単位数	2
教科書等	701 書道Ⅰ（東京書籍）						
課題レポート		6 回	スクーリング回数		8 回	視聴レポート上限	4 回
試験範囲		単位認定試験は実施しない。					

1. 学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。

2. 学習における留意事項

指定された筆を各自で準備すること

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	書写から書道へ	第1回	教科書P.16～23
第2回	漢字の書、漢字の成立と変遷、古典に基づく学習、楷書	第2回	教科書P.24～29
第3回	行書	第3回	教科書P.27～35
第4回	草書、隷書、篆書	第4回	教科書P.62～69
第5回	仮名の書	第5回	教科書p.38～58
第6回	漢字仮名交じりの書 篆刻・刻字	第6回	教科書p.59～61
		第7回	教科書P.74～103
		第8回	教科書P.104～123

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポートによる総合評価とする。

5. 備考

--

令和7年度 英風高等学校 学習指導計画

教科名	芸術	科目名	書道Ⅱ	略称	書Ⅱ	単位数	2
教科書等	70Ⅰ 書道Ⅱ（東京書籍）						
課題レポート		6 回	スクーリング回数	8 回	視聴レポート上限	4 回	
試験範囲		単位認定試験は実施しない。					

1. 学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。

2. 学習における留意事項

指定された筆を各自で準備すること 篆刻で使う材料費は各自負担とする

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	漢字の書体とその特徴、篆書、篆刻・刻字	第1回	教科書P.1-13
第2回	隸書	第2回	教科書P.14-20
第3回	草書	第3回	教科書P.22-29
第4回	行書、楷書	第4回	教科書P.46-56
第5回	仮名の書	第5回	教科書p.30-39
第6回	漢字仮名交じりの書	第6回	教科書p.40-45
		第7回	教科書P.58-81
		第8回	教科書P.82-101

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポートによる総合評価とする。

5. 備考

--

令和7年度 英風高等学校 学習指導計画

教科名	外国語	科目名	◎英語コミュニケーションⅠ	略称	英Ⅰ	単位数	3
教科書等	701 All Aboard! English CommunicationⅠ（東京書籍）						
課題レポート		6回	スクーリング回数		12回	視聴レポート上限	7回
試験範囲		課題レポートおよびスクーリングで扱った内容から出題する。					

1. 学習の到達目標

外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くことの五つの領域による実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付ける。

2. 学習における留意事項

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	Lesson1 Breakfast around the World Lesson2 Australia's Cute Quokkas	第1回	教科書P20-P37
第2回	Lesson3 A Train Driver in Sanriku	第2回	教科書P38-P47
第3回	Lesson4 A Miracle Mirror	第3回	教科書P48-P59
第4回	Lesson5 Learning from the Sea	第4回	教科書P60-P77
第5回	Lesson6 A Funny Picture from the Edo Period	第5回	教科書P78-P87
第6回	Lesson7 A Diary of Hope	第6回	教科書P88-P97
第7回	Lesson8 A Door to a New Life	第7回	教科書P98-P111
第8回	Lesson9 Fighting Plastic Pollution	第8回	教科書P112-P121
第9回	Lesson10 Pigs from across the Sea	第9回	教科書P122-P131
		第10回	教科書P132-P141

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポート、単位認定試験による総合評価とする。

5. 備考

令和7年度 英風高等学校 学習指導計画

教科名	外国語	科目名	英語コミュニケーションⅡ-α	略称	英Ⅱ α	単位数	2
教科書等	701 All Aboard! English Communication Ⅱ（東京書籍）						
課題レポート	6 回	スクーリング回数	8 回	視聴レポート上限	4 回		
試験範囲	課題レポートおよびスクーリングで扱った内容から出題する。						

1. 学習の到達目標

「英語コミュニケーションⅠ」の内容を踏まえ、五つの領域別の言語活動及び複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を通して、コミュニケーションを図る資質・能力を育成する。

2. 学習における留意事項

「英語コミュニケーションⅡ（4単位）」の分割履修。主として前半部分を扱う。

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	Pre-Lesson My Plans for This Year Lesson1 A Colorful Island	第1回	教科書P8-P19
第2回	Lesson2 With the Beatles	第2回	教科書P20-P29
第3回	Lesson3 Wild Men	第3回	教科書P30-P41
第4回	Lesson4 Little Hero	第4回	教科書P42-P55
第5回	Lesson5 Special Makeup in Kabuki	第5回	教科書P56-P69
第6回	Reading1 Mujina	第6回	教科書P70-P77
		第7回	教科書P78-P91
		第8回	教科書P92-P105

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポート、単位認定試験による総合評価とする。

5. 備考

英語コミュニケーションⅠの履修を前提とする。

令和7年度 英風高等学校 学習指導計画

教科名	外国語	科目名	英語コミュニケーションⅡ-β	略称	英Ⅱβ	単位数	2
教科書等	701 All Aboard! English Communication Ⅱ（東京書籍）						
課題レポート		6 回	スクーリング回数		8 回	視聴レポート上限	4 回
試験範囲		課題レポートおよびスクーリングで扱った内容から出題する。					

1. 学習の到達目標

「英語コミュニケーションⅠ」の内容を踏まえ、五つの領域別の言語活動及び複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を通して、コミュニケーションを図る資質・能力を育成する。

2. 学習における留意事項

「英語コミュニケーションⅡ(4単位)」の分割履修。主として後半部分を扱う。

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	Lesson6 Seeds for Future Generations	第1回	教科書p120-p122
第2回	Lesson7 Over the Wall	第2回	教科書p123
第3回	Lesson8 Inspiration from Nature	第3回	教科書p124
第4回	Lesson9 The Bitter Truth behind Chocolate	第4回	教科書p125
第5回	Lesson10 Fighting Angel	第5回	教科書p126-127
第6回	Reading2 Bear's Pie	第6回	教科書p128-129
		第7回	教科書P134~P147
		第8回	教科書P148~P155

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポート、単位認定試験による総合評価とする。

5. 備考

英語コミュニケーションⅠの履修を前提とする。

令和7年度 英風高等学校 学習指導計画

教科名	外国語	科目名	英語コミュニケーションⅢ-α	略称	英Ⅲ α	単位数	2
教科書等	701 All Aboard! English Communication Ⅲ（東京書籍）						
課題レポート		6 回	スクーリング回数		8 回	視聴レポート上限	4 回
試験範囲		課題レポートおよびスクーリングで扱った内容から出題する。					

1. 学習の到達目標

「英語コミュニケーションⅡ」の内容を踏まえ、五つの領域別の言語活動及び複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を通して、コミュニケーションを図る資質・能力を育成する。

2. 学習における留意事項

「英語コミュニケーションⅢ(4単位)」の分割履修。主として前半部分を扱う。

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	Lesson1 Gifts to Barcelona	第1回	Lesson1①
第2回	Lesson2 Akkamui	第2回	Lesson1②
第3回	Lesson3 Your True Colors	第3回	Lesson2
第4回	Lesson4 Our Future Food?	第4回	Lesson3
第5回	Lesson5 Madagascar	第5回	Lesson4
第6回	Reading1 The Fun They Had	第6回	Lesson5
		第7回	Reading1①
		第8回	Reading1②

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポート、単位認定試験による総合評価とする。

5. 備考

英語コミュニケーションⅡの履修を前提とする。

令和7年度 英風高等学校 学習指導計画

教科名	外国語	科目名	英語コミュニケーションⅢ-β	略称	英Ⅲβ	単位数	2
教科書等	701 All Aboard! English Communication Ⅲ（東京書籍）						
課題レポート	6回	スクーリング回数	8回	視聴レポート上限	4回		
試験範囲	課題レポートおよびスクーリングで扱った内容から出題する。						

1. 学習の到達目標

「英語コミュニケーションⅡ」の内容を踏まえ、五つの領域別の言語活動及び複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を通して、コミュニケーションを図る資質・能力を育成する。

2. 学習における留意事項

「英語コミュニケーションⅢ(4単位)」の分割履修。主として後半部分を扱う。

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	Lesson6 The Mystery of the Terracotta Warriors	第1回	Lesson6①
第2回	Lesson7 Green Challenges	第2回	Lesson6②
第3回	Lesson8 Witnesses of War	第3回	Lesson7
第4回	Lesson9 The Wonders of Lightning	第4回	Lesson8
第5回	Lesson10 Katherine's Long Journey	第5回	Lesson9
第6回	Reading2 Table for Two	第6回	Lesson10
		第7回	Reading2①
		第8回	Reading2②

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポート、単位認定試験による総合評価とする。

5. 備考

英語コミュニケーションⅡの履修を前提とする。

令和7年度 英風高等学校 学習指導計画

教科名	外国語	科目名	論理・表現Ⅰ	略称	論Ⅰ	単位数	2
教科書等	701 NEW FAVORITE English Logic and ExpressionⅠ（東京書籍）						
課題レポート		6回	スクーリング回数		8回	視聴レポート上限	4回
試験範囲		課題レポートおよびスクーリングで扱った内容から出題する。					

1. 学習の到達目標

英語学習の特質を踏まえ、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くことの三つの領域において、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付ける。
--

2. 学習における留意事項

ネイティブの指導者を含めたTTとなる場合がある

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	Unit1 Lesson1 初めての食事 Lesson2 道に迷う Lesson3 人物紹介	第1回	教科書P14-P31
第2回	Lesson4 体調が悪い Lesson5 買い物 Lesson6 行ってみたい場所	第2回	教科書P32-P49
第3回	Lesson7 イベントに誘われる Lesson8 スクールカウンセラーに相談 Lesson9 お気に入りを紹介	第3回	教科書P50-P67
第4回	Lesson10 待ち合わせに遅刻 Lesson11 家庭でのディスカッション Lesson12 英字新聞に投稿	第4回	教科書P68-P87
第5回	Unit2 Lesson1 クラウドでディベート① Lesson2 クラウドでディベート② Lesson3 経験談のスピーチ Lesson4 遊びやスポーツを紹介	第5回	教科書P88-P98
第6回	Lesson5 日本をPR Lesson6 物事の両面を伝える Lesson7 読み手を納得させる Lesson8 読み手を説得する	第6回	教科書P100-104
		第7回	教科書P106-P122
		第8回	教科書P124-P136

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポート、単位認定試験による総合評価とする。

5. 備考

--

令和7年度 英風高等学校 学習指導計画

教科名	外国語	科目名	論理・表現Ⅱ	略称	論Ⅱ	単位数	2
教科書等	701 NEW FAVORITE English Logic and Expression Ⅱ（東京書籍）						
課題レポート		6 回	スクーリング回数	8 回	視聴レポート上限		4 回
試験範囲		課題レポートおよびスクーリングで扱った内容から出題する。					

1. 学習の到達目標

「論理・表現Ⅰ」の内容を踏まえ、英語学習の特質を踏まえ、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くことの三つの領域において、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付ける。

2. 学習における留意事項

ネイティブの指導者を含めたTTとなる場合がある

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	Lesson1 友達に報告する Lesson2 日本での初登校 Lesson3 経験についてのスピーチ Lesson4 ファンレター	第1回	教科書p8-11
第2回	Lesson5 イベントに誘う Lesson6 図書館で資料さがし Lesson7 翻訳についてのスピーチ Lesson8 通信販売で返品依頼	第2回	教科書p12-13
第3回	Lesson9 タクシーの乗る Lesson10 友達とディスカッション Lesson11 比較結果のプレゼンテーション Lesson12 就きたい職業	第3回	教科書p14-15
第4回	Lesson1 クラスでディベート① Lesson2 クラスでディベート② Lesson3 クラスでディベート③	第4回	教科書p16-17
第5回	Lesson4 調査結果のプレゼンテーション Lesson5 社会問題についてのスピーチ	第5回	教科書p18-19
第6回	Lesson6 仮定して推論する Lesson7 比較して説明する Lesson8 読み手を説得する	第6回	教科書P20~P23
		第7回	教科書P24~P39
		第8回	教科書P40~P56

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポート、単位認定試験による総合評価とする。

5. 備考

論理・表現Ⅰの履修を前提とする。

令和7年度 英風高等学校 学習指導計画

教科名	外国語	科目名	論理・表現Ⅲ	略称	論Ⅲ	単位数	2
教科書等	701 NEW FAVORITE English Logic and Expression Ⅲ（東京書籍）						
課題レポート		6 回	スクーリング回数		8 回	視聴レポート上限	4 回
試験範囲		課題レポートおよびスクーリングで扱った内容から出題する。					

1. 学習の到達目標

「論理・表現Ⅱ」の内容を踏まえ、英語学習の特質を踏まえ、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くことの三つの領域において、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付ける。

2. 学習における留意事項

ネイティブの指導者を含めたTTとなる場合がある

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	Lesson1 食糧問題についてディスカッションする Lesson2 メールで近況を伝える	第1回	Lesson1
第2回	Lesson3 学校新聞でアドバイスする Lesson4 宇宙についてスピーチする	第2回	Lesson2
第3回	Lesson5 イベントなどを説明する Lesson6 理想の場所や時間を描写する	第3回	Lesson3
第4回	Lesson7 日本の観光をプレゼンテーションする Lesson8 趣味について書く	第4回	Lesson4
第5回	Lesson9 物事を分析して評価する	第5回	Lesson5
第6回	Lesson10 学習環境についてディベートする	第6回	Lesson6
		第7回	Lesson7・8
		第8回	Lesson9・10

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポート、単位認定試験による総合評価とする。

5. 備考

論理・表現Ⅱの履修を前提とする。

令和7年度 英風高等学校 学習指導計画

教科名	外国語	科目名	(学)英語基礎	略称	英基	単位数	2
教科書等	ラスパ英語（東京書籍）						
課題レポート	6 回	スクーリング回数	8 回	視聴レポート上限	4 回		
試験範囲	課題レポートおよびスクーリングで扱った内容から出題する。						

1. 学習の到達目標

小学校, 中学校の学習内容を振り返り, 高校で英語を学ぶための基礎を身につける。
--

2. 学習における留意事項

--

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	be動詞(現在)、一般動詞(現在) よく使う表現: あいさつ、三人称単数現在 代名詞	第1回	ラスパ1-5
第2回	よく使う表現: 時間・料金・数をたずねる、現在進行形 「…できる」「…できますか」というとき よく使う表現: 曜日・日付をたずねる、命令文	第2回	ラスパ6-10
第3回	さまざまな疑問文、よく使う表現: お願いしたりされたりするとき 一般動詞(過去形)、be動詞(過去形) よく使う表現: …しなくてはならない	第3回	ラスパ11-15
第4回	過去進行形、未来形、よく使う表現: 電話 動名詞、不定詞の用法①②	第4回	ラスパ16-20
第5回	よく使う表現: 誘うとき／…のように見える if, when, becauseを使った文、There is[are] の文 よく使う表現: 道をたずねる／具合をたずねる、比較	第5回	ラスパ21-25
第6回	よく使う表現: 買い物、受け身の文(肯定文) 受け身の文(疑問文・否定文) 不定詞の用法③、関係代名詞	第6回	ラスパ26-32
		第7回	ラスパくん(1~6)
		第8回	ラスパくん(7~12)

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポート、単位認定試験による総合評価とする。

5. 備考

--

令和7年度 英風高等学校 学習指導計画

教科名	家庭	科目名	○家庭基礎	略称	家基	単位数	2
教科書等	311 家庭基礎（東京書籍）						
課題レポート		6 回	スクーリング回数		4 回	視聴レポート上限	2 回
試験範囲		課題レポートおよびスクーリングで扱った内容から出題する。					

1. 学習の到達目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成する。

2. 学習における留意事項

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	家族・社会との共生 第1章 生涯を見通す 第2章 人生をつくる	第1回	教科書p.14-19, p.22-24
第2回	第3章 子どもと共に育つ 第4章 超高齢社会を共に生きる	第2回	教科書p38~46
第3回	第5章 共に生き、共に支える 生活の自立 第6章 食生活をつくる 1~5	第3回	教科書p90~p97
第4回	第6章 食生活をつくる 6・7 第7章 衣生活をつくる	第4回	教科書p192~p197

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポート、単位認定試験による総合評価とする。

5. 備考

教科名	家庭	科目名	○家庭総合-α	略称	家α	単位数	2
教科書等	307 家庭総合（東京書籍）						
課題レポート	6 回	スクーリング回数	4 回	視聴レポート上限	2 回		
試験範囲	課題レポートおよびスクーリングで扱った内容から出題する。						

1. 学習の到達目標

人の一生と家族・家庭及び福祉, 衣食住, 消費生活・環境などについて, 生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに, それらに係る技能を総合的に身に付ける。

2. 学習における留意事項

「家庭総合(4単位)」の分割履修。主として前半部分を扱う。

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	家族・社会との共生 第1章 生涯を見通す	第1回	教科書p10～p17
第2回	第2章 人生をつくる	第2回	教科書p20～24, 32～35
第3回	第3章 子どもと共に育つ	第3回	教科書p46～p53, p68～p70
第4回	第4章 超高齢社会を共に生きる	第4回	教科書p76～p84

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポート、単位認定試験による総合評価とする。

5. 備考

令和7年度 英風高等学校 学習指導計画

教科名	家庭	科目名	○家庭総合-β	略称	家β	単位数	2
教科書等	307 家庭総合（東京書籍）						
課題レポート	6 回	スクーリング回数	4 回	視聴レポート上限	2 回		
試験範囲	課題レポートおよびスクーリングで扱った内容から出題する。						

1. 学習の到達目標

家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現する。

2. 学習における留意事項

「家庭総合(4単位)」の分割履修。主として後半部分を扱う。

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	第5章 共に生き、共に支える	第1回	教科書p94～p102
第2回	生活の自立 第6章 食生活をつくる 1～4	第2回	教科書p122～p129
第3回	第7章 衣生活をつくる 1～3	第3回	教科書p231、p238、p244～p249
第4回	第9章 経済生活を営む	第4回	教科書p160～p167

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポート、単位認定試験による総合評価とする。

5. 備考

--

令和7年度 英風高等学校 学習指導計画

教科名	情報	科目名	◎情報Ⅰ	略称	情Ⅰ	単位数	2
教科書等	70Ⅰ 新編情報Ⅰ（東京書籍）						
課題レポート	6回	スクーリング回数	4回	視聴レポート上限	2回		
試験範囲	課題レポートおよびスクーリングで扱った内容から出題する。						

1. 学習の到達目標

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を育成する。

2. 学習における留意事項

--

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	1章 情報で問題を解決する	第1回	教科書p.38-43
第2回	2章 情報を伝える	第2回	教科書p.40-41, p.44-46, p.55
第3回	3章 コンピュータを活用する	第3回	教科書p.66-67, 83
第4回	4章 データを活用する	第4回	教科書p.68-73

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポート、単位認定試験による総合評価とする。

5. 備考

--

令和7年度 英風高等学校 学習指導計画

教科名	情報	科目名	情報Ⅱ	略称	情Ⅱ	単位数	2
教科書等	701 情報Ⅱ（東京書籍）						
課題レポート	6 回	スクーリング回数	4 回	視聴レポート上限	2 回		
試験範囲	課題レポートおよびスクーリングで扱った内容から出題する。						

1. 学習の到達目標

多様なコミュニケーションの実現, 情報システムや多様なデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに, 情報技術の発展と社会の変化について理解を深めるようにする。

2. 学習における留意事項

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	実習編 1章 情報社会 01-04 2章 コンテンツ 05-12	第1回	実習編1章・2章
第2回	実習編 3章 データサイエンス 13-18 4章 情報システム 19-23	第2回	実習編3章・4章
第3回	理論編 1章 情報社会 01-03 2章 コンテンツ 04-06	第3回	理論編1章・2章
第4回	理論編 3章 データサイエンス 07-12 4章 情報システム 13-16	第4回	理論編3章・4章

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポート、単位認定試験による総合評価とする。

5. 備考

情報Ⅰの履修を前提とする。

令和7年度 英風高等学校 学習指導計画

教科名	総合探究	科目名	◎総合的な探究の時間-α	略称	総探α	単位数	1
教科書等	(教科書なし)						
課題レポート	6回	スクーリング回数	1回	視聴レポート上限	0回		
試験範囲	単位認定試験は実施しない。						

1. 学習の到達目標

情報モラルに関して、自分自身にも起こりうる諸問題とその予防や対処の方法について考える。
教科の枠を超えた活動を通して課題に対する考察と実験を行う。

2. 学習における留意事項

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	情報モラル	第1回	情報モラル

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポートによる総合評価とする。

5. 備考

教科名	総合探究	科目名	◎総合的な探究の時間-β	略称	総探β	単位数	1
教科書等	(教科書なし)						
課題レポート	6回	スクーリング回数	1回	視聴レポート上限	0回		
試験範囲	単位認定試験は実施しない。						

1. 学習の到達目標

睡眠について、自分自身にも起こりうる諸問題とその予防や対処の方法について考える。
教科の枠を超えた活動を通して課題に対する考察と実験を行う。

2. 学習における留意事項

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	睡眠について学ぶ	第1回	睡眠について学ぶ

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポートによる総合評価とする。

5. 備考

令和7年度 英風高等学校 学習指導計画

教科名	総合探究	科目名	◎総合的な探究の時間-γ	略称	総探γ	単位数	1
教科書等	(教科書なし)						
課題レポート	6回	スクーリング回数	1回	視聴レポート上限	0回		
試験範囲	単位認定試験は実施しない。						

1. 学習の到達目標

ストレスについて、自分自身にも起こりうる諸問題とその予防や対処の方法について考える。
教科の枠を超えた活動を通して課題に対する考察と実験を行う。

2. 学習における留意事項

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	ストレスマネジメント	第1回	ストレスマネジメント

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポートによる総合評価とする。

5. 備考

令和7年度 英風高等学校 学習指導計画

教科名	総合探究	科目名	◎総合的な探究の時間-δ	略称	総探δ	単位数	1
教科書等	(教科書なし)						
課題レポート	6回	スクーリング回数	1回	視聴レポート上限	0回		
試験範囲	単位認定試験は実施しない。						

1. 学習の到達目標

性の問題について、自分自身にも起こりうる諸問題とその予防や対処の方法について考える。
教科の枠を超えた活動を通して課題に対する考察と実験を行う。

2. 学習における留意事項

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	性について学ぶ	第1回	性について学ぶ

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポートによる総合評価とする。

5. 備考

教科名	総合探究	科目名	◎総合的な探究の時間-ε	略称	総探ε	単位数	1
教科書等	(教科書なし)						
課題レポート	6回	スクーリング回数	1回	視聴レポート上限	0回		
試験範囲	単位認定試験は実施しない。						

1. 学習の到達目標

進路の多様性について考え、自信にとっての進路を見極める。

2. 学習における留意事項

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	進路研究	第1回	進路研究

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポートによる総合評価とする。

5. 備考

教科名	総合探究	科目名	◎総合的な探究の時間-Ⅰ	略称	総探Ⅰ	単位数	1
教科書等	(教科書なし)						
課題レポート		6 回	スクーリング回数		1 回	視聴レポート上限	0 回
試験範囲		単位認定試験は実施しない。					

1. 学習の到達目標

高校生活におけるさまざまな活動を振り返り、卒業後の目標を考える。

2. 学習における留意事項

3. レポートの出題範囲

4. スクーリングの計画

第1回	3年間を振り返って	第1回	3年間を振り返って

4. 学習評価について

各観点について、スクーリング、レポートによる総合評価とする。

5. 備考